

令和元年度教育功労表彰者

R1. 11. 1

氏名 年齢 住所地	主たる経歴 (最終歴)	功 績 概 要
赤岡 直樹 74歳 北杜市	元 高校教育課長	県立韮崎高等学校長として、校訓「百折不撓」の実現に向け、きめ細やかな学習指導を行い、大学合格者の増加を図るとともに、サッカー部を始め、全国で活躍する部活動指導に尽力した。県教育庁高校教育課長時代には、警察との連携、長野県との教員交流の制度化など時代に即した新規事業を企画・実施し、高校教育の発展・振興に寄与した功績は顕著である。
岩下 洋 74歳 甲州市	元 塩山高等学校長	塩山高等学校長時代には、「知のパイオニア推進事業」のモデル校として校内体制の確立を始め、課題設定、計画立案、実践と検証など、生徒の学力向上に向け確固たるリーダーシップを発揮した。分かる授業の実施、個に応じた指導の充実を全校体制で行い、今に続く塩山高等学校の教育の方向性を示した功績は顕著である。
林 静雄 75歳 山梨市	元 都留高等学校長	県教育庁新しい高校づくり推進室主幹として、入試制度改革、総合学科高校・単位制高校の設置等に尽力した。都留高等学校長時代には、単位制高校への改編を推進し土台作りに努めた。退職後は、山梨学院大学生涯学習センター事務長や笛吹市スコラー大学講師を務めるなど、学校教育の振興に貢献した功績は顕著である。
原 邦夫 76歳 富士川町	元 巨摩高等学校長	県教育庁総務課主幹として、博物館建設や盲学校・甲府養護学校一体的改築等の調整業務に尽力した。巨摩高等学校長時代には、広報誌の「巨摩高だより」発刊、地域公開講座「巨摩高文化講座」の開講など地域に根ざした学校づくりを行った。退職後も旧増穂町教育長や巨摩高等学校同窓会長を務めるなど、学校教育の振興に貢献した功績は顕著である。
古屋 孝徳 74歳 山梨市	元 甲府城西高等学校長	県教育庁スポーツ健康課指導主事、体育指導監として、学校体育及び競技スポーツの振興を図った。甲府城西高等学校長時代には、声かけ・あいさつ運動を実施し爽やかな校風づくりに寄与するとともに、夏の制服を制定し規律ある生徒の育成に尽力した。退職後は、県ハンドボール協会長を務めるなど、体育教育の振興に貢献した功績は顕著である。
山本 紘治 74歳 甲斐市	元 桂高等学校長	県総合教育センター主幹・研修主事として、研究生や研修主事を指導し、研究をリードするなど指導環境の充実に寄与した。桂高等学校長時代には、「学習と部活動の両立」を目標に指導し、アメリカへの短期留学の復活や部活動面で生徒が文化、体育の隔てなく活躍できる環境を整備するなど、学校教育の振興に貢献した功績は顕著である。

令和元年度教育功労表彰者

R1.11.1

氏名 年齢 住所地	主たる経歴 (最終歴)	功績概要
泉 浩 75歳 都留市	元 都留市立 谷村第一小学校長	都留市立谷村第一小学校長として、児童の学習及び生活上の困難を克服した自立を目指して、特殊学校から特別支援学級への道を開くべく先頭に立ち、校内体制の確立に貢献した。退職後は、都留市教育研修センター相談員として児童・生徒及び保護者からの教育相談を受けるなど、児童・生徒の健全育成に寄与した功績は顕著である。
小田切 道之 74歳 甲斐市	元 甲斐市立 敷島小学校長	新設校の昭和町立常永小学校長として、校歌制定、運動会等の各種教育活動、教職員の協力体制の構築、PTAの組織づくり等、新しい学校づくりに尽力した。甲斐市立敷島小学校長時代には、3町が合併した甲斐市の教育協議会及び校長会を始め、教職員、市教育委員会、保護者等の連絡調整に尽力し、新体制づくりに貢献した功績は顕著である。
風間 典和 75歳 甲州市	元 塩山市立 塩山北小学校長	勝沼町立東雲小学校長として、かねてから推進していた障害のある児童一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その能力可能性を最大限に伸ばすための細かい障害児教育に尽力した。塩山市立塩山北小学校長時代には、学校開放日として地域住民や保護者に終日学校参観を行うなど、学校と地域が連携した新しい学校づくりに尽力した功績は顕著である。
勝俣 武男 75歳 都留市	元 都留市立 東桂中学校長	文部省社会教育施設の専門職員として勤務した経験を活かし、都留市立東桂中学校長時代に文部科学省の「放課後学習チューターの調査研究」の指定を受け、都留文科大学と連携し、学力向上を図る施策を積極的に行った。また、帰国子女教育では、きめ細やかな日本語指導を実践するなど、学校教育の活性化に尽力した功績は顕著である。
輿石 弘 74歳 甲斐市	元 甲斐市立 玉幡小学校長	甲斐市立玉幡小学校長として、「心を耕す国語力の向上推進事業拠点校」の指定を受け、公開研究を行うなど各小中学校へ国語力向上の重要性を広め成果をあげた。退職後の竜王中部公民館長時代には、地域教育の要として諸事業の企画実践を行い、コミュニケーション活動や社会教育活動を通して地域の発展に貢献した功績は顕著である。
小林 三郎 74歳 鳴沢村	元 鳴沢村立 鳴沢小学校長	河口湖町立河口湖北中学校長として、学習と部活動の取り組みを通して主体的に行動することのできる生徒の育成に努めた。鳴沢村立鳴沢小学校長時代には、福祉教育や国際理解教育、情報教育に力を注ぎ、学校運営に優れた指導力を発揮した。退職後も鳴沢村教育委員会教育長として教育行政の振興に貢献した功績は顕著である。

令和元年度教育功労表彰者

R1.11.1

氏名 年齢 住所地	主たる経歴 (最終歴)	功績概要
佐藤 日出子 75歳 東京都八王子市	元 上野原町立 四方津小学校長	上野原町立四方津小学校長として、PTA有志の奉仕作業によるビオトープの建設、社会科副読本の編集に関わり、児童の学習環境の整備に尽力した。また、町の校長会の幹事長として、学校評議員や学校評価等の研究に尽力するとともに、北都留郡校長会の会長として、北都留全体の学校教育の振興に寄与した功績は顕著である。
田草川 眞 74歳 富士川町	元 甲府市立 南中学校長	鵜沢町立鵜沢中学校長として、学校教育のあらゆる面を人権教育の視点で見直し、全国公開研究発表会で成果を上げた。甲府市立南中学校長時代には、市内の中学生が一斉に職場体験学習を実施出来るよう尽力するなど、キャリア教育を推進した。退職後も、富士川町初代教育委員長として、合併後の教育環境の整備に貢献した功績は顕著である。
竹田 忠晴 75歳 富士吉田市	元 富士吉田市立 下吉田中学校長	県教育庁主幹管理主事、富士北麓・東部教育事務所長として、教育行政に熱心に取り組み、教職員の地域間格差の解消に貢献した。富士吉田市立下吉田中学校長時代には、強力なリーダーシップを取り、特色ある学校づくりに尽力した。退職後も、富士吉田市教育委員会教育長として児童生徒の教育振興と地域の生涯教育の充実に貢献した功績は顕著である。
遠山 久宏 74歳 富士吉田市	元 富士吉田市立 吉田中学校長	富士吉田市立吉田中学校長として、不登校生徒への援助に意を注ぎ、個人別指導カルテを作成し学校全体で取り組んだ。また、県下の国語科担当者の授業力を高める指導を実践し、人材育成に積極的に取り組んだ。退職後も、県総合教育センターこすもす教室指導員として、不登校対策に尽力するなど、児童生徒の健全育成に寄与した功績は顕著である。
永田 徹 74歳 甲府市	元 甲府市立 西中学校長	県教育庁義務教育課長、甲府市教育委員会学校教育課長を歴任し、教育効果を高める教育施策の推進と、教師の指導力向上を図る指導体制の構築に尽力した。甲府市立西中学校長時代には、基礎基本の確実な定着を図り、自ら学ぶ生徒の育成を推進した。退職後も山梨大学客員教授を務めるなど、学校教育の振興に貢献した功績は顕著である。
三井 國夫 74歳 甲斐市	元 甲斐市立 竜王中学校長	教員生活を通し、野球部顧問として卓越した指導力を発揮し、野球の普及や優秀選手の育成に努め、県大会優勝、関東大会出場など成果をあげた。甲斐市立竜王中学校長として、授業改善、地域人材の活用に努めるとともに、生徒や保護者による外部評価を導入し、学校教育に活かす「開かれた学校づくり」の推進に尽力した功績は顕著である。

令和元年度教育功労表彰者

R1. 11. 1

氏名 年齢 住所地	主たる経歴 (最終歴)	功績概要
望月 一二 74歳 身延町	元 身延町立 身延中学校長	身延町立身延中学校長として、「学力向上フロンティア事業」実施校に指定され、「単元構想理論」に基づいた授業づくりの研究に取り組み、公開研究会で成果をおさめた。退職後は、町及び県文化財保護審議会委員や県環境保全審議会委員を務めるなど、学校教育のみならず、多分野にわたり地域の発展に貢献した功績は顕著である。
山田 武人 75歳 笛吹市	元 笛吹市立 一宮中学校長	県峡東教育事務所長時代、初代所長として新システムの礎をつくり、円滑な運営に貢献した。一宮町立（笛吹市立）一宮中学校では、校長として、誰もが生き生きと活動できる学校づくりに尽力した。退職後も笛吹市教育委員会教育長として、合併間もない笛吹市の教育基盤づくりに尽力するなど、地域の教育振興に貢献した功績は顕著である。
米澤 茂徳 75歳 北杜市	元 北杜市立 長坂小学校長	県北巨摩教育事務所長として、中北地域の学校教育及び生涯学習の振興に尽力した。北杜市立長坂小学校長時代には、県から「開かれた学校づくり推進モデル校」の指定を受け、開かれた学校のあり方を研究しながら、家庭や地域社会との連携を積極的に図り、児童の生きる力を育む学校づくりに貢献した功績は顕著である。
野呂瀬 秀 70歳 甲府市	現 山梨県 レクリエーション協会会長	昭和50年山梨県レクリエーション協会理事に就任以来、県内各地に多くのニュースポーツの普及を図ってきた。特に会長に就任後は、レクリエーション協会に加盟する県内50団体の組織強化に尽力し、関係団体と協力体制を構築することで協会の発展により一層努力するなど、スポーツの振興に貢献した功績は顕著である。
加藤 重子 74歳 市川三郷町	元 市川大門町立 市川中学校養護教諭	勤務した各学校で、不登校等課題を抱える児童生徒に積極的に関わり心身の健全な成長に寄与するとともに、心のこもった対応で保護者から厚い信頼を得るなど児童生徒及び教職員の健康管理・保健指導に尽力した。山梨県養護教員研究会会長時代には、自己研鑽のため研究会等を積極的に実施するなど、養護教諭の資質向上に貢献した功績は顕著である。